

製品デザインコース教員 専門性解説シート

● 氏名 / (NAME) / 役職

張 浦華 / Puhua ZHANG / 准教授



● 職歴 / 学歴

- 2006 札幌市立大 デザイン学部 製品デザインコース 准教授
- 2005 筑波大学にて博士(感性科学)取得
- 1998 筑波大学 芸術学系 講師
- 1991 株式会社 GKインダストリアルデザイン デザイン計画部
- 1991 筑波大学 大学院 芸術研究科にて修士(デザイン学)取得
- 1987 中央工芸美術学院 (現在清華大学美術学院 中国) 助教
- 1987 中央工芸美術学院 卒業

● 専門性を示す代表的な作品 / 専門性を表現するイメージ(写真)



● 専門性を表すキーワード(5つ以内)

感性情報 / 感性評価 / 形態 / プロダクトデザイン / デザイン計画

● これからの製品デザイン分野で重要視されると考えるキーワード(5つ以内)

デザインの感性価値 / デザインの寛容性とカスタマイズ / 創造力 / デザインによる生活質の向上

● 指導時に主にサポートできる部分(技術/造形/表現手法/ソフトウェア/思考/発想、等)

- ・ 問題発見、問題解決に関する調査分析、提案に至る発想技術指導
- ・ 感性からデザインを発想する手法
- ・ 布やセラミックなどの素材を用いたデザイン提案
- ・ イメージや形態に関する感性評価
- ・ 人間のあいまいな行動や感性的評価の定量的解析
(Excel、数量化Ⅲ類分析、クラスター分析、コレスポンデンス分析、テキストマイニングなどの分析手法による言葉や文書の解析)
- ・ アイマークレコーダや脳波計などを用いた生理指標による感性的データ収集と解析

● フリーコメント

デザインに対する評価は、益々人間の感性による評価が重要になってくるでしょう。ヒトの第一印象はとても重要であることは言うまでもないが、モノの評価にとって第一印象は変重要であるとする。モノから瞬間的に得られた第一印象はそのモノの機能からではなく、トータルイメージからである。何を連想、想像させるかによって、第一印象に影響し、感性評価が変わる。デザインは機能価値と同様に感性価値を重視した、より良いデザインをするために、人間の感性を“探り”、それを生かして、感性的に評価されるオリジナルデザインを目指して頑張りましょう。